

チェスをする人

「大地のうた」3部作
「遠い雷鳴」に続く世界の巨匠

サタジット・レイ監督作品

英国から王手をかけられた国王の運命も知らず
二人の将軍はひたすらチェスを続けていた
インド王国に落日は近い……

鋭くとらえたインド近代史の曲り角!

原作ムンシ・プレムチャンド
脚色・監督・音楽サタジット・レイ
撮影ショーメンドゥ・ロイ
サンジェーヴ・クマール/サエード・ジャフリー
リチャード・アッテンボロー/アムジャッド・カーン
シャバナ・アズミ
デヴォキ・チトロ・プロダクション(インド映画)

The Chess Players

SHATRANJ KE KHILARI

Satyajit
Ray's

A SEASON OF RAY '81

「チェスをする人」「株式会社」2作品連続上映



映倫

SHATRANJ KE KHILARI

チェスをする人

SHATRANJ KE MILGARI
インド映画

監督サタジット・レイ

出演者は、ヒンズー語映画界で名優として知られるアムジャッド・カーンがアウド王を、総督代理にはイギリスの俳優であり、「遠すぎた橋」「マジック」などの監督としても知られるリチャード・アッテンボロー、貴族の一人ミールには「王になろうとした男」に出演したサエード・ジャフリーが扮し、そのほかインド映画界最大の人気女優シャバナ・アズミが花をそえている。

この作品はインド国内で78年度最優秀ヒンズー語映画賞、最優秀撮影賞を受賞し、国外ではベルリン映画祭、シカゴ映画祭、ロンドン映画祭などで上映され、各国で絶賛を博した。イギリスのインターナショナル・フィルム・ガイド誌では、「ミッドナイト・エクスプレス」「アニー・ホール」「結婚しない女」「帰郷」「木靴の樹」などを押さえて、78年ベスト・ワンに選出されている。

(一九七七年インド映画、イーストマン・カラー、二時間一分)



へかいつつ、歴史の大きな歯車が音を立てて回っている時にも、その時代に生きることができる人にはその真の姿が見えないものだと言われている。インド近代史の、曲り角々に直面しながら、国の運命にも政治の動きにもなんの関心も示さず、日がな一日チェスのみに興じている二人の男とその妻たち。その二組の貴族たちの姿を横糸に、イギリスの非道きまわる露骨な植民地政策によって併合されようとするインドのアウド王国の悲運の国王の姿を縦糸に、華麗なつづれ織りのように歴史のある「大地のうた」三部作、「大都会」「遠い雷鳴」と名作を送り出し続けているサタジット・レイ監督がプレムチャンドの傑作短編小説をもとに、初めて手がけたヒンズー語映画であり、今までの作品と同様、監督自身が脚色、音楽を兼ねている。撮影は「遠い雷鳴」で美しい映像を見せたシヨームンドウ・ロイが担当している。

「あらすじ」 一八五六年、インドの北部、アウド王国の首都ラクノウはイスラム文化の花開く美しい町であった。ここに住む二人の貴族ミルザとミールは先祖の武勳によって広大な領地を与えられて、何不自由ない暮しをしている。二人がすることと言えば、朝から晩までチェスを戦っただけである。イギリスの東インド会社が近隣の国々、パンジャブ、ベルマ、ナグプル……を次々と接収し、残る王国はアウド一国となり、今にこの国にもイギリス軍が侵攻していくらしいという噂があつても、二人の頭にはチェスのことしかない。国王ワジドはイギリスと友好関係を結び、要求されればいつでも快く金を用立てている。永久友好条約も締結しているこの国を、その信頼を破って攻めてくるはずはないと二人は安心しきつている。

その思いはワジド王も、またその側近の者たちも同じだった。詩を作り音楽作曲し、美しい王冠や踊りを愛する芸術家肌の王は、政治にはうといが、国民からは慕われていた。ラクノウ駐在の東インド会社の総督代理アウトラムはこのワジド王がどんな人物か、いろいろ調査を続けていた。そのアウトラム將軍の所に英国総督からの特使が到着した。一八五六年一月三十一日のことである。英国にとってアウド王国の接収は当然の帰結であり、チェスで相手のキングを追い込むように、着々と準備の駒をすすめていたのだ。

アウトラムはさっそく首相呼びつけて王の退位を迫った。この通達を聞いた王は、激怒した。「友好条約は現在なお有効であるのに、何の権利があつて退位を迫る。人民が要求するならば王位を退くが、英国の横暴に従うわけにはいかない。たとえ戦いになったとしても……」

そんな事態などつゆ知らず、ミルザとミールは、あいかわらずチェスに夢中になっている。ミルザの妻はちつとも自分にかまつてくれず、チェスばかりしている夫に腹をたてていた。険悪な状態になってきたので、彼らは今度はミールの家でチェスをすることにした。

ミールの妻はチェスをしている夫の留守に甥のアキルと浮気を楽しんでいた。寝室にいたところをミールに見えられた妻とアキルは、国王の軍隊が英国と戦うために若者を徴発しているの隠れているのだとでまかせを言つてごまかした。真に抜けたミールはすっかりおびえて、ミルザと町を抜けて出た。もちろんチェスと愛用の水タバコをたずさえて……。

いよいよアウトラム將軍とワジド王の会見の日が来た。退位の承認を含んだ新条約への署名を勧告する將軍に対し、ワジド王はしばらく沈思の後、王冠を差し出した。

「王冠はぬぐが、条約に署名はしない」

流血をさけながら、英国の国際信義に反する行為を批判するワジド王の英断であつた。

ラクノウに進駐する英国軍の隊列を、ミルザとミールは、町はずれの小さな村でながめていた。呑気な二人にも事態の重大さがだんだんとわかつてきた……。一八五六年二月五日、アウドは英国に併合され、一八四七年の独立の日まで英国の支配は続いたのである。

【スタッフ】
製作……………シュレス・ジन्दル
原作……………ムンシ・プレムチャンド
脚色……………サタジット・レイ
監督……………サタジット・レイ
音楽……………シヨームンドウ・ロイ
撮影……………シヨームンドウ・ロイ

【キャスト】
ミルザ……………サンジェウ・クマール
ミール……………サエード・ジャフリー
ミルザの妻……………シャバナ・アズミ

アウド王ワジド……………アムジャッド・カーン
アウトラム將軍……………リチャード・アッテンボロー

A SEASON OF RAY '81
次回ロードショー ■ 5月下旬より
サタジット・レイ 株式会社(ザ・カンパニー)
監督作品



18日(土)
4月下旬より
エキブ・ド・シネマ7周年記念
G・Wロードショー

●地下鉄(都営三田線・新宿線)神保町駅・下車1分 国電(中央線)水道橋駅またはお茶の水駅・下車7分 ●神保町交差点

岩波ホール (262) 5252

シーズン・オブ・レイ'81
セット券(チェスをする人)2000円
株式会社
特別鑑賞券1100円(当日券1400円の処)
岩波ホールチケット・ガイド(ビル1階)のほか都内各プレイガイドにて発売中!
団体のお申込み・お問合わせは岩波ホールへ

平日(月~土)	12:30	3:30	6:30
日曜日	11:30	2:30	5:30

上映時間
■入れ替え制・自由定員制